

鎌倉市教科用図書採択検討委員会（第1回）会議録

日 時	令和2年(2020年)5月12日（火）	15：00開会 16：45閉会
場 所	鎌倉市立大船中学校 会議室	
出席者	三好委員      掛札委員      八神委員      鈴木委員      林委員 磯部委員      内海委員      永井委員      小西委員      杉野委員	
事務局	石川教育指導課長   池邊指導主事   上指導主事      佐藤指導主事 山内指導主事   濱地指導主事   竹下指導主事   竹澤指導主事	
次 第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会<ol style="list-style-type: none"><li>(1) あいさつ</li><li>(2) 委員委嘱</li><li>(3) 委員紹介、教育委員会紹介</li><li>(4) 委員長、副委員長選出</li></ol></li><li>2 依頼事項</li><li>3 議 事<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 教科用図書採択について<ol style="list-style-type: none"><li>ア 採択のしくみ</li><li>イ 市採択方針及び流れ</li></ol></li><li>(2) 調査研究について<ol style="list-style-type: none"><li>ア 調査員への指示内容</li><li>イ 調査員の指名</li><li>ウ 報告書の作成について</li></ol></li><li>(3) その他<ol style="list-style-type: none"><li>ア 見本本の扱いと学校巡回展示について</li><li>イ 今後の日程</li></ol></li></ol></li></ol>	

## 会議内容

### ○ 開 会

教育長からの委員委嘱

委員自己紹介

教育委員会事務局職員自己紹介

### ○ 会 議

1 教育長挨拶

2 委員長、副委員長選出

司 会        まず、委員長・副委員長選出を行いたい。委員長については、資料2「鎌倉市教科用図書採択検討委員会条例施行規則」第2条、第1項により「検討委員会に、委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。」とある。

立候補か推薦の意志があれば発言をお願いしたい。

委 員        今回は、中学校の教科用図書採択なので、委員長に大船中学校長 三好委員、副委員長に 腰越中学校長 鈴木委員を推薦する。

司 会        委員長に三好委員、副委員長に鈴木委員の推薦をいただいた。他にないか。

無いようなので、三好委員を委員長に鈴木委員を副委員長に決定したいが、よろしいか。

(異議無し)

司 会        承認されたので、お二人には委員長、副委員長席に移動をお願いします。

(委員長席、副委員長席へ移動)

司 会        教育長から本検討委員会への依頼をする。

(教育長から委員長へ依頼)

教育長        鎌倉市教育委員会は、検討委員会に次のとおり、令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究を依頼する。

1 令和3年度(2021年度)使用中学校教科用図書の採択を行うにあた

り必要な事項を調査研究する。

- 2 調査研究にあたっては、令和2年3月27日付文科省通知「令和3年度使用教科書の採択事務処理について（通知）」、令和2年4月30日付神奈川県教育委員会通知「令和3年度義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針について（通知）」、及び、鎌倉市教育委員会「令和3年度（2021年度）使用教科用図書の採択方針」に基づいて行う。

- 3 報告期限は令和2年7月29日とする。

以上、願います。

司 会 教育長・次長は業務重複のため退席する。

（教育長・次長は業務重複のため退席）

司 会 これ以降の進行は委員長に願います。

委員長 新学習指導要領改訂に伴って、昨年度は小学校の教科用図書採択があった。今回は中学校の教科書採択ということで、2年前に採択した「特別の教科 道徳」も含めて16種目の教科書採択を行う。皆様のお知恵をお借りしながら、鎌倉の子どもたちにとって、よりよい教科書が採択できる資料を作成したいと思うので、協力をお願いしたい。

なお、本検討委員会の調査研究が円滑に行えるよう教育指導課及び教育センターの指導主事等に、実務上の補佐をお願いしたいが、いかがか。

（異議なし）

委員長 それではよろしく願います。

3の議事に入る。（1）教科用図書採択について、まず、「ア 採択のしくみについて」、事務局説明を願います。

事務局 ア「採択のしくみ」について説明する。

教科書の採択とは、学校で使用する教科書を決定することである。その権限は、公立学校で使用する教科書については、その学校を設置する市町村や都道府県の教育委員会にある。そして、教育委員会が採択するための資料を作成するために、当採択検討委員会が設置されている。

教科書とは、義務教育である小学校、中学校で教科の主たる教材として作成された児童・生徒用図書であり、文部科学省の検定を経たもの、又は

文部科学省が著作の名義を有するものとされている。これは、『教科書の発行に関する臨時措置法』という法律に定められている。

また、教科書は、『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律』により全ての児童生徒に無償で渡されることになっている。そのため、その法律で、教科書の選定の基準や方法が定められている。

関連法令等については、資料3「教科書の根拠法令及び検定・採択の周期について」を後ほど参照いただければと思う。

次に、資料4「令和3年度(2021年度)使用教科用図書採択の流れ」をご覧ください。

教科書は原則として文部科学省の検定を経たものでなくては採択ができない。まず、各教科書の発行者から①書目の届け出があります。文部科学省はこの届け出に基づいて検定を行う。

文部科学大臣は、検定を通過した教科書の②教科書目録を県教育委員会に送付し、その後、市教育委員会に届けられる。

同時に県教育委員会では、資料5「令和3年度使用教科書の採択事務処理について」及び、資料6「教科書採択の改善について」にあるように、市町村教育委員会が適切に採択するよう、採択の対象となる教科書について調査・研究し、採択権者である市町村教育委員会に指導・助言・援助することになっている。そこで、県教育委員会においても、③採択方針を決定し、採択基準を作成する。これが資料7「令和3年度義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針」である。これをもとに、選定審議会を設置し、調査研究を行い、選定資料を作成・送付することで、市教育委員会へ④助言指導を行うことになる。なお、選定資料については、6月下旬以降送付される予定なので、送付され次第皆様に配付する。こちらは送付後、お読みいただければと思う。

これらの方針に基づき、⑤鎌倉市教育委員会では、先に行われた定例教育委員会で資料8「令和3年度(2021年度)使用教科用図書の採択方針」を決定した。

そして、「鎌倉市教科用図書採択検討委員会条例」に基づき、⑥本鎌倉市教科用図書採択検討委員会を設置している。

本検討委員会では、今後、条例に基づき鎌倉市教科用図書採択検討委員会調査員会を設置し、⑦調査員に資料の調査を指示し、その資料を基に検討委員会で調査研究を行い、鎌倉市教育委員会に報告し、⑧教育委員会において教科書の採択を行うことになる。

このようなしくみにより、令和3年度(2021年度)使用教科用図書の採択を行ってまいらる。

以上で採択のしくみについての説明を終わる。

委員長 「採択のしくみ」について質問はないか。

(質問なし)

委員長 では、「次の「伊 市採択方針」について事務局に願います。

事務局 まず、採択方針について、本検討委員会に関係するものを中心に説明する。

お手元の資料 8 「令和 3 年度(2021年度)使用教科用図書の採択方針」をご覧ください。

1 基本的な考えとしては、(1) 国、県の方針等を踏まえて採択する、(2) 公正・適正を期し採択する、(3) 本市の児童生徒にふさわしいものを採択する、となっており詳細は記載の通りである。

続いて、2 採択の手続きだが、これまで文部科学省から留意事項が示されていることを受けて、次の手続きにより教科用図書を採択する。(2) 中学校用教科用図書についてをご覧ください。令和 2 年度(2020年度)は採択替えの年度であり、採択に必要な事項を調査研究するため、教科用図書採択検討委員会(平成24年2月24日制定)を設置し、教科の種目ごとに比較検討・調査研究を行い、その報告を受けて採択することとする。なお、検討委員会の会議は、公正な検討を行うため非公開とする。また、作成した報告書等は採択した後に公開する、となっている。

なお、小学校用教科用図書は、令和元年度(2019 年度)に採択したものと同じものを採択するので、本検討委員会での調査研究は行わない。

また、特別支援教育関係用教科用図書については、一人ひとりの特性や教育的ニーズに合った図書を採択する必要があることから、毎年採択を行うこととしているが、調査研究は鎌倉市特別支援学級設置校長会が行う。

次に、3 採択の日程だが、中学校用教科用図書については、小学校と一緒に 8 月の臨時教育委員会会議において採択し、特別支援教育関係用教科用図書は、7 月の定例教育委員会において採択する。

こちらは資料 9 に採択事務手続きとしてまとめておいたのでご覧ください。

委員長 ここで、質問があれば願います。

(質問なし)

委員長 続いて、「(2) 調査研究について」、事務局願います。

事務局 それでは、(2) 調査研究について説明する。

先ほども説明した通り、本検討委員会が採択方針に基づき調査研究及び比較検討を行い、教育委員会が採択を行うための資料を作成する。しかし、採択教科、種目も多岐にわたり、少ない検討委員会の回数の中ですべてのものを調査研究することは難しいことになる。そこで、採択方針により臨時委員である調査員を置き、それぞれの種目について資料を作成していただき、その資料を基に本検討委員会で採択資料の作成をすることとする。

また、調査研究に使用する資料だが、調査員の作成した資料の他、発行者ごとに教科書の編集の考え方が示されている「教科書編修趣意書」がある。委員の皆様にはデータにてお渡しするので、お持ち帰りいただき、後程ご覧いただきたい。

まず、ア「調査員への指示内容」についてだが、資料8「令和3年度(2021年度)使用教科用図書の採択方針」、及び資料6「教科書採択の改善について」、資料7「令和3年度義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針について」に基づき進めてまいりたいと考えている。なお、調査員が作成した資料の報告については第2回の検討委員会にて行う。

以上で説明を終わる。

委員長 事務局の説明について質問や意見はあるか。

(質問・意見なし)

委員長 引き続き「イ 調査員の指名について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 「調査員の指名」については、すでに中学校校長会より48名のご推薦をいただいている。皆様のご了承をいただき調査員として教育委員会へ報告する。

資料Bに調査員候補一覧があるのでご覧いただきたい。

委員長 では、名簿にある候補者を各種目の調査員として了承することでよいか。

(異議なし)

委員長 「ウ 報告の作成について」事務局説明をお願いします。

事務局 報告書の作成は、教育長より依頼のあった通り、資料5「令和3年度使用教科書の採択事務処理について（通知）」、資料7「令和3年度義務教育諸学校使用教科用図書の採択方針について（通知）」、及び、資料8「令和3年度（2021年度）使用教科用図書の採択方針」に基づいて行うこととする。

また、報告書の様式については、前回の全種目採択時に使用した資料10を元とし資料12「教科用図書調査研究報告書様式」の通りとしたいと考えている。なお、裏面には調査員でまとめる調査資料の形式をお示しした。

報告書の内容については、教科用図書の特徴を明らかにし、種目ごとに順位性を明示し、教育委員会が採択をするにあたって参考となる資料を作成していただきたいと考えている。これについては、教科書の装丁や見栄えを重視するものではなく、内容を考慮した十分な研究が必要であるとされているので、現場の教師が実際授業を行う上でどうであるか、それぞれの教科書にどのような工夫がなされているのかどうかなど、具体的なわかりやすい記述としたいと思う。

なお、様式内の総合評価に関しては記述式、検討結果については種目ごとに◎、○、なしという形式で順位制を当委員会の協議の中で決定していくことで、教育委員会が採択をするにあたって十分に参考となる資料を作成していただきたいと考えている。

検討委員会の報告書作成期限は、令和2年(2020年)7月29日までとなるので、第2回及び3回目の検討委員会でまとめていくこととなる。

以上、ご協議をお願いします。

委員長 総合評価、検討結果の仕方など報告書の様式について、事務局から提案があった。何か質問・意見はあるか。

(質問・意見なし)

委員長 それでは、事務局の方で今後の手続きを進めてもらう。  
では、ここで調査活動の時間を設ける。事務局、連絡と案内をお願いします。

事務局 会場後方に資料、見本本等が用意してあるので、自由にご覧いただきたい。

なお、お手持ちの資料以外に学習指導要領並びに学習指導要領解説、かまくら教育プラン、かまくらっ子の意義と実態調査「かまくらっ子」（鎌倉市教育センター）、教科用図書の見本本を用意してある。

(調査活動)

委員長 再開する。では、「(3) その他」「ア 見本本の扱いと学校巡回展示について」事務局をお願いします。

事務局        まず、教科書見本本について説明する。教科書検定を受けた発行者、つまり教科書会社は、各教育委員会での採択の参考にするため、次年度に発行する教科書の見本を都道府県教育委員会や市町村教育委員会などに送付する。教育委員会は、その教科書の見本を使用して採択のための調査・研究を行う。

本日、現時点で届いている見本本を先ほどの調査・活動の時間に見ていただいた。令和3年度(2021年度)使用教科用図書に関しては、資料15の目録にもある通り、69種145点が届けられる予定である。

今後は委員の皆様や調査員、各学校、そして教育委員会の皆様にもご覧いただき調査・研究をお願いすることになる。あくまでも見本本なので、調査・研究の際のお取り扱いには十分ご注意ください。

なお今後、各中学校に二週間程度の期間で巡回展示を行い、その期間に各中学校による調査研究を行っていただく。各学校の調査・研究の結果は資料13の学校調査票にて提出をお願いする予定である。なお、巡回展示の予定については、資料14の通りになる。

委員長        質問はあるか。

(質問・意見なし)

委員長        続いて、「イ 今後の日程」について確認する。事務局お願いします。

事務局        それでは資料17をご覧いただきたい。先ほど説明をしたが、検討委員会は、第2回を7月8日(水)の午後2時より、第3回目を7月21日(火)の午前9時半より、どちらも深沢学習センターにて開催する予定としている。なお、第2回と第3回の依頼文については、先日前届けした依頼文をもってかえさせていただくので、ご了承ください。

次回の第2回目までに、各委員の方はそれぞれで調査活動をお願いする。その際に本日CD-ROMでお渡ししている教科書編修趣意書などをもとに調査研究をいただければと思う。

なお、保護者代表の委員の方々には見本本を6月中旬にお届けする。学校関係委員の皆様は学校巡回などの期間をご利用いただきたい。なお、教育委員会においても、7月10日から16日まで展示会を開催するので、ご利用いただければと思う。

委員長        質問等あるか。なければよろしくお願いします。

委員長        それでは、議事についてはすべて終了した。閉会あいさつを副委員長に  
                  願います。

副委員長      議事を無事終了できた。協力に感謝する。第2回の検討委員会は、調査  
                  員からの報告を受けての内容検討となるが、それまでに、私たちもそれぞ  
                  れの立場で調査研究を進め、次回につなげていきたい。今後調査研究等大  
                  変だとは思いますが、よろしく願いしたい。

                  これをもって第1回鎌倉市教科用図書採択検討委員会を閉会する。

会議録署名

令和3年度(2021年度)使用教科用図書採択検討委員会

委員長 ( 三好 晃香 )

会議録署名委員 ( 掛丸 隆 )

会議録署名委員 ( 林 達也 )